

こどもプロジェクト事業アンケート調査概要

《目的》

平成27年度から本格実施を始めた「子育てケアプラン作成」について、作成した子育てケアプランの満足度や活用実態を明らかにし、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援につながっているのか事業の効果を検証する。

《実施方法》

子育てケアプラン作成面接への来所者に対し、自記式質問紙による調査を行う。調査、分析に関しては、本市と包括協定を結んでいる順天堂大学医療看護学部と共同して実施している。

1. 妊娠届出時・出産前後・お子さんの1歳の誕生日前後のそれぞれの時期に子育てケアプランを作成に来た方へのアンケート調査（H28.9～11月実施）
2. 子育てケアマネジャーへのインタビュー調査（H28.8月実施）
3. 妊娠届出時・出産前後・子どもの1歳の誕生日前後の全3回を通して作成した方へのアンケート調査（H28.12～1月実施）
4. 子育てケアプランを作成していない保護者へのインタビュー調査（H28.8～10月調査）
5. 子育てケアプラン作成時および子どもが1歳半～2歳を迎えた頃の全4回に対する横断的なアンケート調査（H29.1月～実施中）

《調査結果概要》

1. 妊娠届出時（ケアプラン1）・出産前後（ケアプラン2）・お子さんの1歳の誕生日前後（ケアプラン3）のそれぞれの時期に子育てケアプランを作成に来た方へのアンケート調査

【調査方法】

子育てケアプラン作成面接に来所した際に自記式質問紙調査を配布し、その場で記入を依頼し回収した。

【調査期間】

平成28年9月14日から平成28年11月11日に実施した。

【分析方法】

回収した調査票のうち、半数以上の項目で無回答等、大幅に記載がされていないものを除いたものを有効回答とした。このため、項目によって回答者数が異なっている。分析は、各項目についての記述統計を算出した。

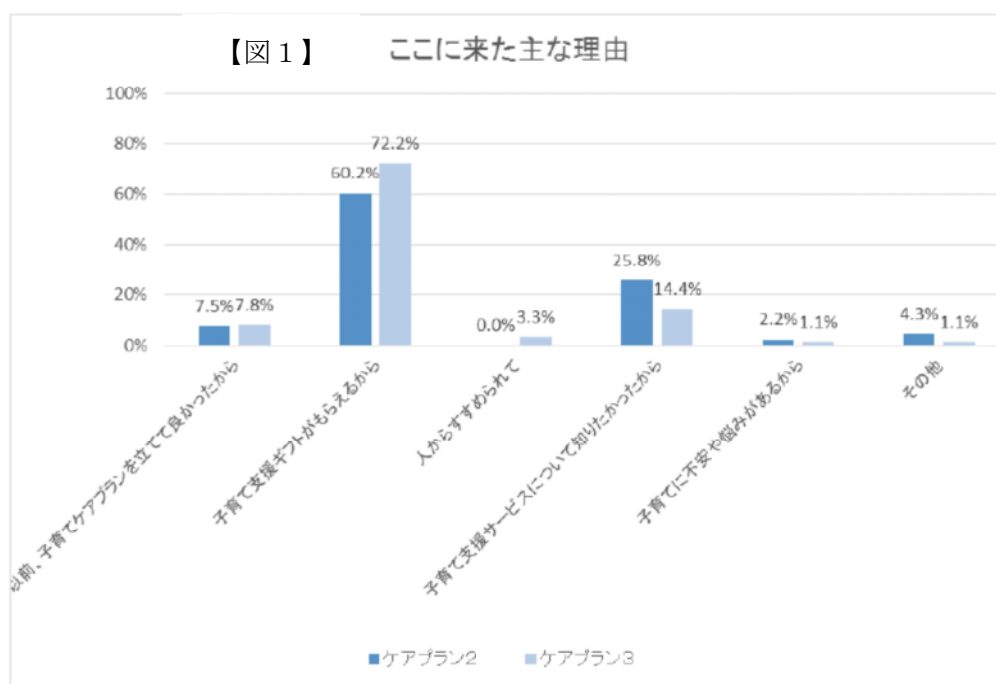
【調査結果】

■調査対象者数

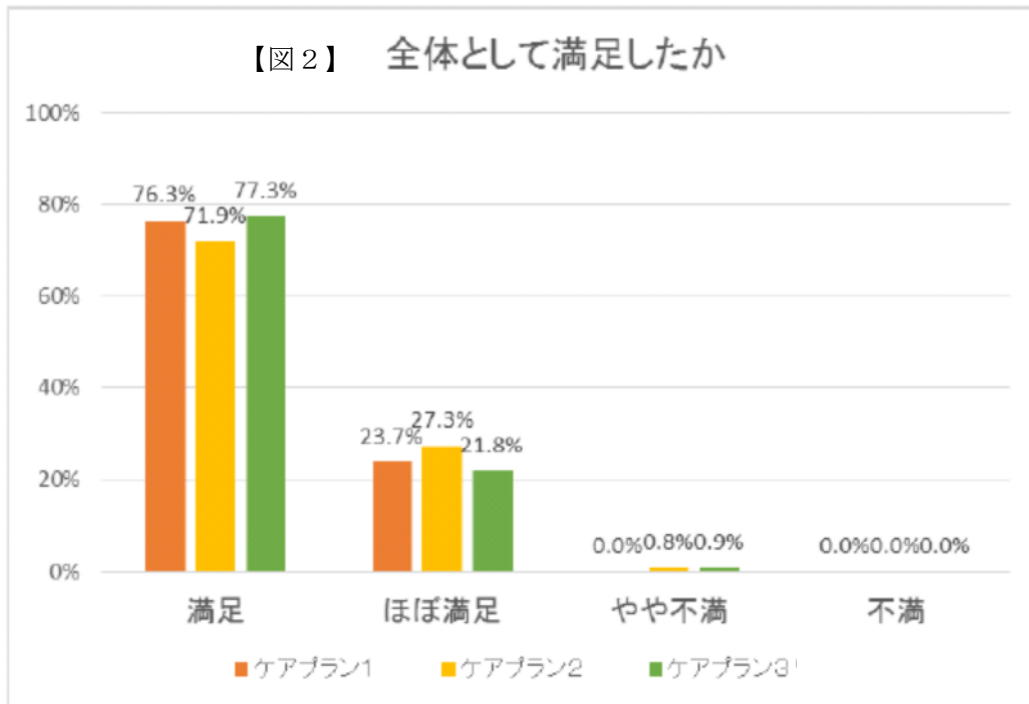
調査期間中のケアプラン作成者663名に対し、調査へ協力した有効回答数は282名（調査率42.5%）であった。調査率を実施時期別にみると、ケアプラン3が51.1%と最も高く、次いでケアプラン2が50.8%であった。ケアプラン1の調査率は20.7%と大幅に低いが、その理由は妊婦の体調不良により、調査依頼が出来なかったことによるものであった。

	作成者数	有効回答者数	調査率
ケアプラン1	184	38	20.7%
ケアプラン2	248	126	50.8%
ケアプラン3	231	118	51.1%
計	663	282	42.5%

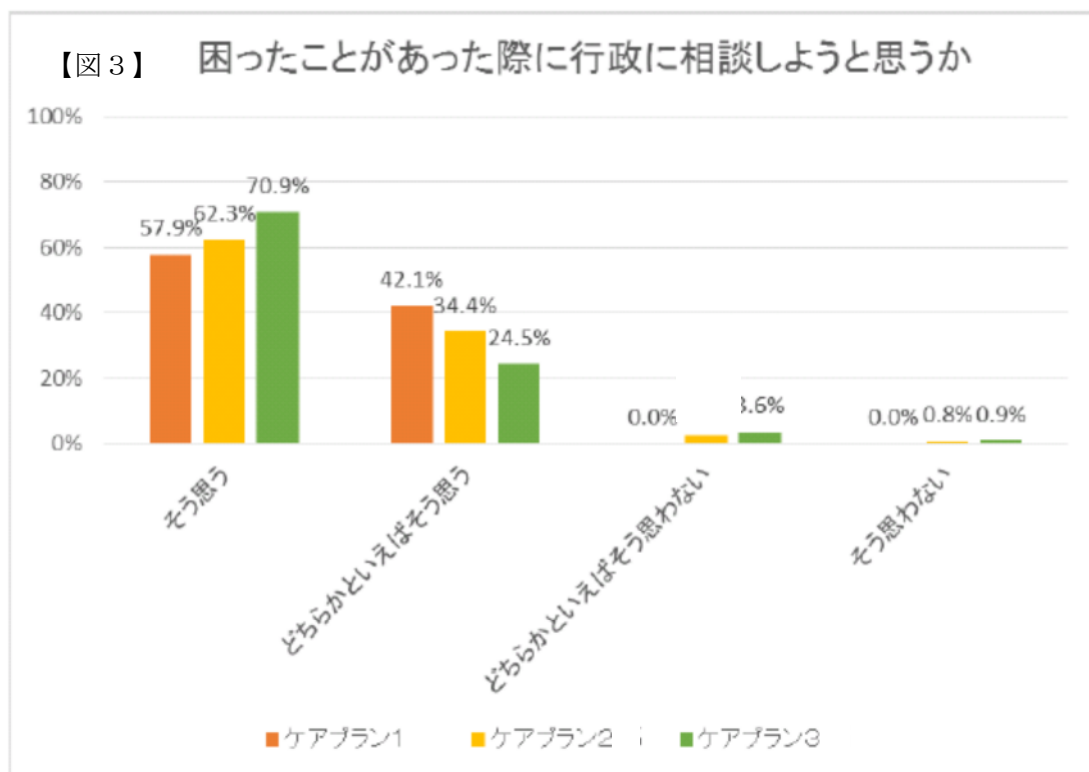
ケアプラン2及び3作成者に来所の理由を尋ねたところ、どちらも6～7割の方が「子育て支援ギフトをもらえるから」と答えており、次いで「子育て支援サービスについて知りたかったから」の順である。【図1参照】



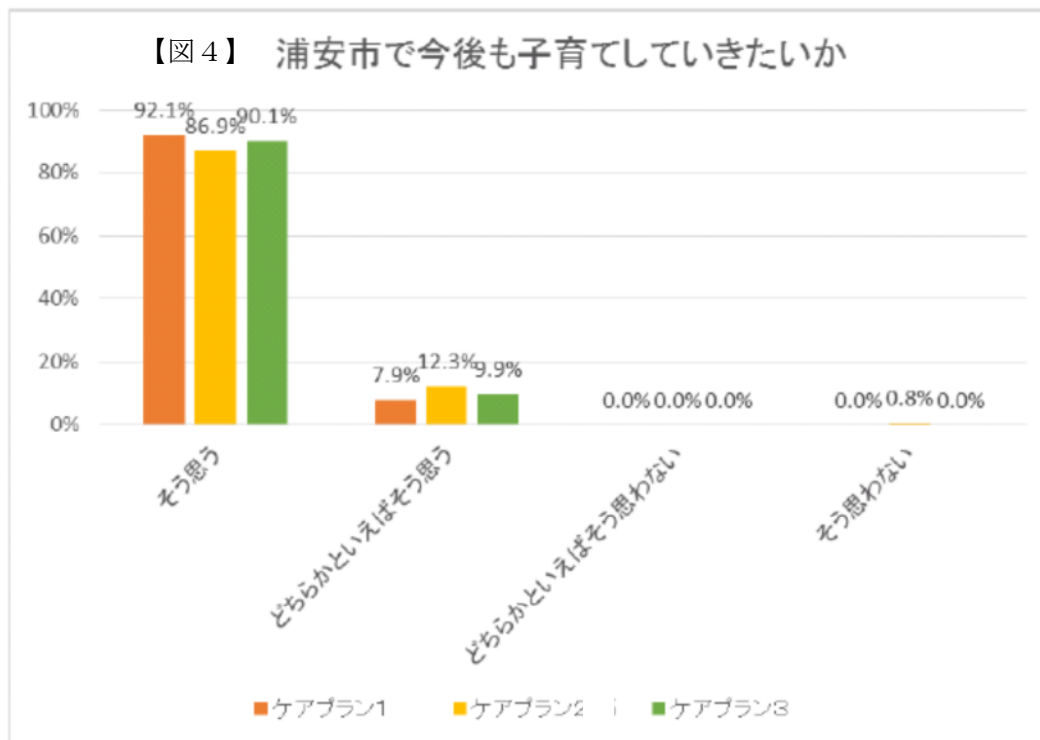
子育てケアプラン作成について、場所やプライバシーへの配慮、自分の気持ちが話せたか、反映されたプランになっているかなども含め満足度を尋ねたところ、全体的には各回のプラン作成ともに7割以上の方が「満足」と回答し、「ほぼ満足」と合わせると99%の方は満足と回答した。【図2参照】



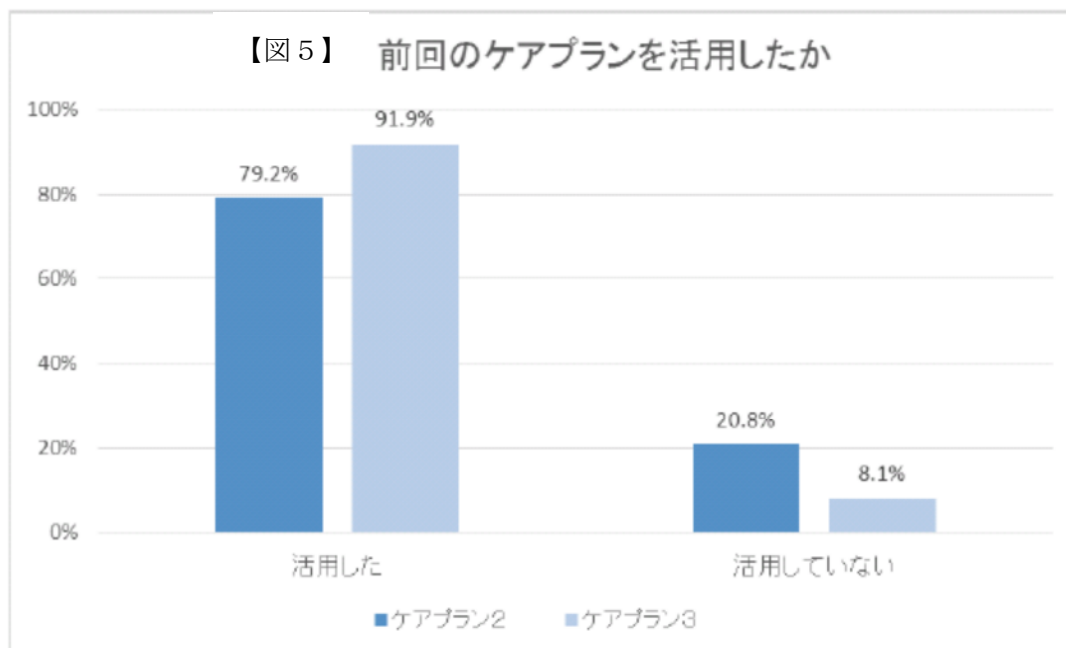
「今後、育児で困ったことがあった際に行政に相談しようと思うか」と尋ねたところ、ケアプランの作成を重ねるごとに「そう思う」の割合が高くなっている。【図3参照】



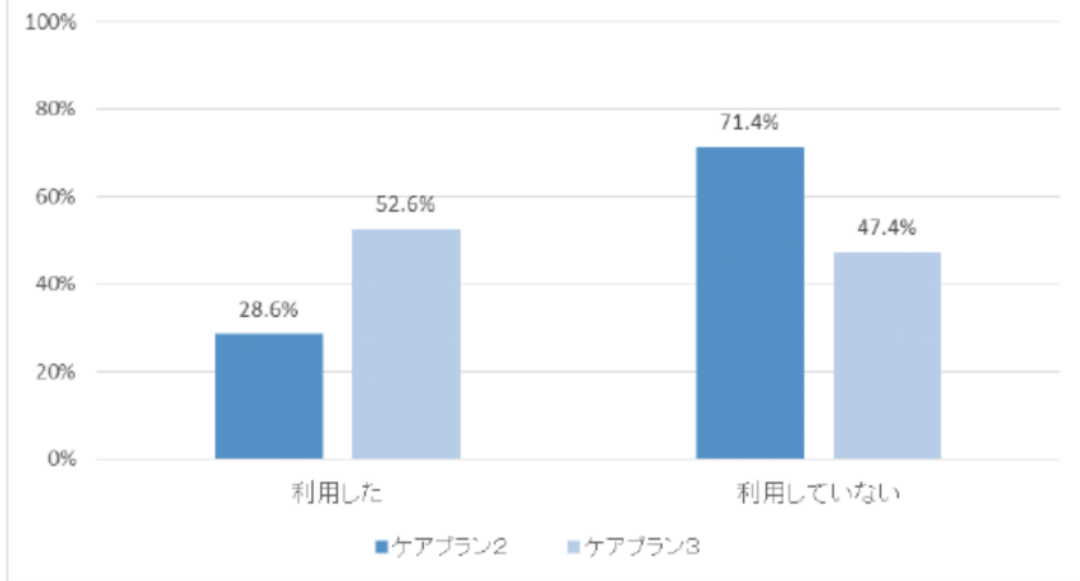
「浦安市で今後も子育てをしていきたいか」については各プランとも9割近くの方が「そう思う」と回答している。【図4参照】



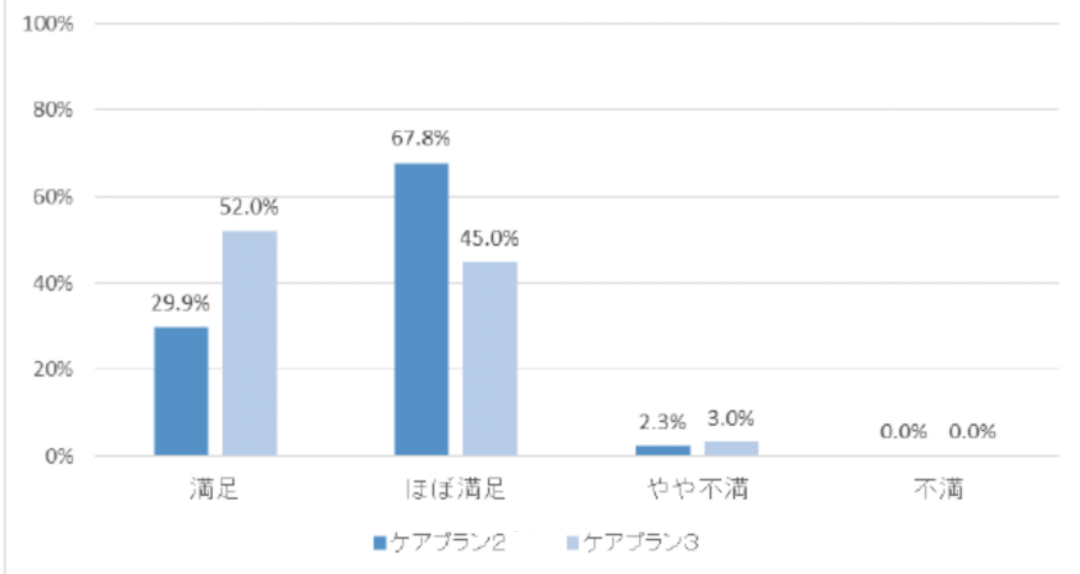
ケアプラン2及び3作成者に前回作成したケアプランの活用や紹介したサービスの利用、ケアプランへの満足度について尋ねたところ、ケアプラン3作成者の方が活用した割合が高くなっている。【図5～7参照】



【図6】 紹介されたサービスは利用したか



【図7】 ケアプランの満足度



2. 子育てケアマネジャーへのインタビュー調査

【調査目的】

- 1) 子育てケアプラン作成の効果について、支援の最前線にいる子育てケアマネジャーがどのように感じているのかを明らかにする。
- 2) 子育てケアプラン作成に関する課題を抽出する。

【調査対象者】子育てケアマネジャー13名（経験年数1～8年、子育て支援の経験：平均5.3年）

【調査期間】平成28年8月22日から平成28年8月30日に実施した。

【調査・分析方法】半構造化インタビュー調査法*にて実施。インタビュー内容をICレコーダーにて録音後、逐語録を作成し、調査目的に関する内容を抽出し、コード化した。近似する意味内容をもつコードを集約しながらデータの内容を表すカテゴリーを生成した。

*半構造化インタビュー調査法・・・事前に大まかな質問事項を決めておき、回答者の答えによってさらに詳細にたずねて行く簡易な質的調査法

【主な質問事項および結果】

- ・ケアプラン作成が母親の育児に役立ったと感じる場面や母親の反応はどのようなものか。
- ・ケアプラン作成時に困った事、大変だったことはどのようなことか。
- ・接している母親の印象 等

ケアプラン作成の効果として実感していること	
(カテゴリー)	(コード)
○子育て中の母親全てと関わる機会	・1歳児以降の母には相談事業で関わることは少なかったが、本事業のおかげで子育て相談の機会が持てる
○他の子育てサービスではできない部分についての相談が可能	・兄弟の相談の場になる時もある ・保育園の先生に相談しにくいことが話せる
○様々な子育て支援サービスの利用が増加	・ケアプラン作成者に、他の子育てサービスを紹介できる ・子育て相談室の利用に繋がっていることを実感している ・忙しくて子育てサービスの情報収集ができない方へ、重要な情報の周知が出来ている
接している母親の印象	
(カテゴリー)	(コード)
○健康的でたくましい印象	・健康的で明るい印象がある。 ・3回目のプランの時期にはおかあさんらしく頼もしく成長している。
○社会資源の活用に興味がある	・育児や保育などのサービスを積極的に使いたい母親もいる。 ・浦安市の母親は子育てに熱心な方や仕事をするため保育園の情報に興味がある方という印象。
○子育てが思い通りにいかず悩む姿をみる	・子育てがシステムチックに結果が出ないことを理解しにくい母親の姿をみる。 ・一生懸命に取り組むが思い通りにいかない子育ては想定外のように思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てが計画どおりにいかないと、母親自身は挫折を味わうのではないかと思う。
○一人で育児を抱え込んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・母親たちは一人で育児を頑張り過ぎている。 ・夫に言いたいことがあるが、一人で頑張ろうと育児を抱え込んでいる母親もいる。

『3. 妊娠届出時・出産前後・子どもの1歳の誕生日前後の全3回を通して作成した方へのアンケート調査』と『4. 子育てケアプランを作成していない保護者へのインタビュー調査』については、4の調査を比較対照群として子育てケアプラン作成した場合と作成していない場合とで分析を行っているところである。

また、『5. 子育てケアプラン作成時および子どもが1歳半～2歳を迎えた頃の全4回に対する横断的なアンケート調査』については、平成29年1月よりケアプラン1作成者に対し調査を開始したところである。（出産予定日がH29年8月～H30.2月頃の方に対しての調査となる）。